

熊野町公民館
大臣表彰受賞

11月13日(火)、文部科学省において平成24年度優良公民館として文部科学大臣表彰を受けました。これは町公民館が幼児から高齢者までの幅広い層を対象にさまざまな事業を展開してきたことが評価されたのもです。



文部科学大臣表彰の賞状と記念品の箱

(生涯学習課)

文科省「運動部活動地域連携再構築事業」
なでしこジャパンの選手がやって来る

熊野町では学校区を越えて女子サッカーを楽しむ、小・中学生の練習会を10月から開催しています。その一環として、なでしこジャパンの宮間あや・福元美穂の両選手が駆けつけ、サッカーの魅力や語り、熊野の「ヤングなでしこ」たちを励ましてくれることになりました。

ちようみん夏まつりでおなじみの石橋竜史さんも加わっての楽しいトークです。ぜひ多数ご来場ください。
▽トーク：宮間あや・福元美穂選手（岡山湯郷ベル）、石橋竜史さん
時12月15日(土)午後3時～午後4時
所町民体育館



(生涯学習課)

「うちどく」絵本の贈呈

日頃青少年育成のためにゆーすふるサンデーや環境美化活動などを行っている、青少年育成くまの町民会議から、各小学校に合計20万円相当の絵本を寄贈いただきました。

この本を通じてより家族や友達とのコミュニケーションが深まることを期待しています。



(生涯学習課)

熊野吹奏楽団第15回記念定期演奏会

師走恒例の吹奏楽コンサート。クラシック作品をはじめ、演歌、ミュージカル、ラテンと親しみやすい曲をお楽しみいただけます。

時12月16日(日)13:10開場、13:30開演

所町民会館 ¥無料 HP<http://www.kumasui.com>

熊野吹奏楽団 info@kumasui.com

※駐車場が大変混み合いますので公共交通機関の利用や乗り合わせをお願いいたします。

(生涯学習課)

第45回町民文化祭将棋大会結果

10月20日(土)町民会館で実施された将棋大会の結果は次のとおりです。

▽A級：優勝 池上 彪凱
準優勝 川本 公博
3位 馬上 弘道、藤井 儀守

▽B級：優勝 金原 秀三
準優勝 津川 照明
3位 宇吹 宗行、山下 龍男

▽C級：優勝 木村 泰英
準優勝 植田 敏雄
3位 青森 大輝、沖土居隆雄

▽子どもの部：優勝 宮原 大翔
準優勝 田村 夕弥
3位 植野 颯太

▽主催：筆の都くまの町民文化祭実行委員会
(生涯学習課)

芸術鑑賞

熊野高等学校

この地に (201)

10月18日(木)、本校体育館で芸術鑑賞を開催しました。3年に一度の行事で、本年度は中国雑技団の公演を鑑賞しました。

公演が始まると煌びやかな衣装や鍛え抜かれたスーパーテクニックに生徒の驚きは興奮に変わり、歓声や拍手が止まることがありませんでした。中国語講座や生徒参加の演目もあり、会場は大いに盛り上がりました。

1年生のある男子生徒は『今日の芸術鑑賞会は素晴らしかった。日頃のたゆまぬ努力があつた素晴らしい演技を作ったのだと思います。人を感動させられるまでになるには相当な努力が必要であることを肌で感じる事ができました。勇気と希望を目の前で見せてもらって本当に良かったです。』と記し、大変感激すると同時に、洗練された技の裏にはたゆまぬ努力があることを学んだようです。



中国雑技団の公演の様子

12月11日(火)18:00から広島市安芸区民文化センターにおいて音楽コース研究発表会ならびに芸術類型進学相談会を開催します。多数のご来場をお待ちしております。

熊野高等学校 ☎854-4155

熊野町
教育委員会

やまびこ

(6)

“うちどく”(家読)の習慣化へ

読書は知識を得るためだけでなく、書き手の心と読み手の心が触れ合うところに素晴らしさがあると思います。

“うちどく”がスタートして6ヶ月が過ぎました。広報くまの11月号の表紙の写真のように温かい読書風景も見られるようになりました。特に絵本は0歳の乳児からお年寄りまで誰が読んでも意味のある本だと思います。絵本を乳児に与えてもじっと絵を見つめます。大人が読むと物語の底に横たわる人間の生き方まで読み取れるのです。大人と子どもと一緒に読むと更に深く広い読み方が出来ます。ブックスタートは生後3ヶ月からと言われますね。

熊野第四小学校の5年生が“うちどく”100%達成という話を聞いて取材に伺いました。担任の川本先生の熱心さに頭の下がる思いがしました。「初めは強制的だったと思いますが、宿題にしました。お母さんが入院されていた子が保護者の欄にメモが出来ないので、担任の私が親の代わりに書いてあげました。退院されてからはお母さんも頑張ってくださいています。子ども達同士もお互いに影響し合って“うちどく”を続けようという雰囲気になっているのだと思います。」と目を輝かせて話してくださいました。また、PTA活動で教頭先生から提案がなされ、3年前から各クラスの学級文庫用に毎月一人100円積み立てをされ、教室に本を増やして来られた話も聞きました。学校の図書室の本も公民館や図書館の本もその場所に出かけていけば、たくさん本に出会うことが出来ます。しかし、毎日の生活の場に本があるということで、自然に本を開いてみたくなるのではないのでしょうか。町費からも各学校に図書費を配分し、それぞれの学校で工夫して読書推進もされています。

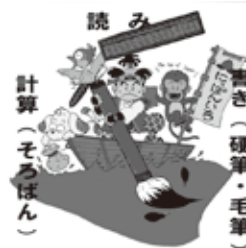
“うちどく”を継続している子どもの学年別割合(%)
(町全体)

小1	小2	小3	小4	小5	小6	中1	中2	中3
28.6	30.7	21.0	25.0	45.6	22.8	33.5	23.6	24.9

(4月末に“うちどく”をスタートしてから10週目までの完全達成者です。あと少しという人はもっと多くいます。)

“うちどく”の取組みは子どもの育ちのための『こと』環境ですね。学校の運動会や学芸会や校外学習の計画をするように『こと』を仕組むことによって、子どもは豊かに成長します。より強く、より賢く、より優しく育ってくれることをこの“うちどく”の目的として継続しています。『こと』環境を整えることは大人の役目ではないでしょうか。保護者と子ども達の頑張りや、地域の皆さんも応援してください。楽しい“うちどく”の継続を!

広告



生徒募集中

読み・書き・そろばんの

サンライトスクール

中溝4丁目9-11 / 東山4-4

- ・幼児かきかたランド
- ・そろばん教室
- ・小1、2対象
- ・毛筆、硬筆 書写教室

Tel 082-854-0101 / Fax 082-854-8800

子どもは地域で守る『子ども110番の家』にご協力ください。対応マニュアル・ステッカーを送付します。

青少年育成くまの町民会議 事務局 生涯学習課 ☎820-5621